

## 原子力事業所安全協力協定加盟事業所輸送訓練見学会（核燃料サイクル工学研究所）

〔訓練の目的〕 日本原子力研究開発機構核燃料サイクル工学研究所と茨城県立消防学校との共催による緊急時対応の強化及び相互の連携強化

〔開催日〕 令和2年2月4日（火） 13：00～15：20

〔開催場所〕 日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所

〔参加機関〕 茨城県立消防学校 特殊災害科  
日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所  
輸送業者

〔参加者〕 協定加盟4事業所から6名参加

### 〔訓練見学会概要〕

核燃料物質を積載した車両が国道を走行中、合流してきた乗用車が積載車の左前部に衝突した。乗用車から白煙があがり、同乗者2名のうち運転手が脱出できないとの想定で訓練が行われた。

事故発生直後に、積載車及びその関係車両は路肩に緊急停車した。輸送隊は輸送本部、最寄警察・消防へ連絡するとともに、立入制限及び禁止区域を設定し、初期消火、負傷者の救出を行った。

消防隊は、到着後、消防警戒区域（進入統制ライン）を設定し、放射線の状況を確認する支援隊に先導されて、立入禁止区域での消火活動を行うとともに衝突した乗用車から負傷した運転手を救出するとともに火災を鎮火させた。救出された運転手は、身体汚染検査を行い、汚染がないことを確認してから、救急車で最寄医療機関へ搬送された。

輸送物の放射線量・汚染有無の確認が行われ、原災法に該当する事象ではないことが確認されて、訓練が終了した。約40分間の一連の訓練を、2つの班が順次行った。



消防隊の立入禁止区域進入



乗用車からの運転手救出



消防隊の身体汚染検査